

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



# 学校だより 堂崎つ子

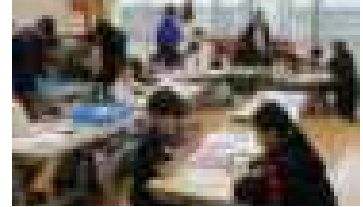
第 2 号

令和 8 年 4 月 20 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

1年生が入学して一週間が経過しました。登校中の安全を考えて集団登校をすることはもちろんですが、学校へ到着した後の上級生の姿を見ると「縦のつながり」の大切さを実感します。例えば、傘のしまい方や靴並べです。また、6年生は1年生教室で、教科書やランドセル・バッグ等の直し方を優しく丁寧に教え、絵本を読み聞かせをする姿も見られます。

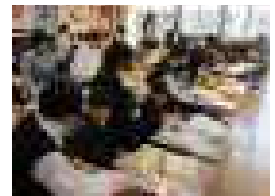


## 入学式における校長としての話から(抜粋)

今日から堂崎小学校の1年生です。ご入学おめでとうございます。先生たちは、みなさんに会えるのを楽しみにしていました。今日から始まる学校生活には、楽しいことがたくさんあります。勉強をしたり、運動したり、友達と遊んだり、毎日が新しい発見の連続です。学校で大切にしてほしいことを三つお話します。



一つ目は、元気に「あいさつ」ができる1年生になってください。「おはようございます」「ありがとう」、この言葉は、みんなを笑顔にする魔法の言葉です。2年生から6年生も自分から進んで挨拶の手本を見せてくれます。



二つ目は、いろいろなことにチャレンジしてください。小学校では、はじめてのことがたくさんあります。うまくできなくても大丈夫。やってみようとする気持ちが、みなさんを大きく成長させます。

三つ目は、友達を大切にしてください。困っている友達がいたら「どうしたの」と声をかけてみましょう。みんなで助け合うと、学校はもっと楽しい場所になります。



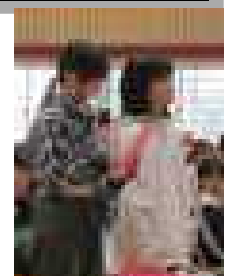
堂崎小学校の教育目標は「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」です。その目標達成のためにも、学校と家庭、地域が一体となって取り組んでいくことが大切です。

みんな仲良く、人に優しく、たくましく、さらに素晴らしい堂崎小学校を95名みんなであつくりましょう。

## 入学式 児童代表「歓迎のことば」より

6年生の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが新1年生への歓迎のことばを次のように述べました。

- ・1年生17名を迎えた。全校95名で「やさしい子、考える子、元気な子」をめざしてがんばりましょう。
- ・学校生活で不安に思ったり不思議に思ったりしたことは、尋ねてほしい。
- ・みんなで遊べることを楽しみにしている。
- ・金魚やカメ、ウサギなどの生き物がいる。また、花や野菜などたくさんある。



## 体位測定・視力・聴力検査を行いました

新年度が始まり、各学年では、体位測定と視力検査、(学年によっては聴力検査)を行いました。言うまでもなく、児童は、自分の身体の成長に関心があるようで、身長や体重の伸びを確かめていました。16日(木)は、入学して間もない1年生も身長や体重の計測を行いました。どの学年も静かに待つことができ、集団としての規律について学んでいました。

「早寝・早起き・朝ごはん」により、規則正しい生活習慣を身に付けるとともに、好き嫌いをなく栄養のバランスを考えた食事、健康を考えた運動をすることにより、心と体を大きく成長させてほしいものです。

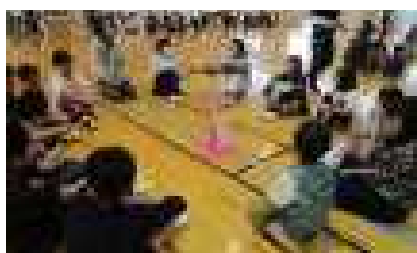
## 歓迎集会・歓迎遠足 4月18日(金)

歓迎集会では、1年生紹介や2年生からのアサガオの種のプレゼント渡し、6年生が中心になって考え進化した「たてわり遊び」などをし、楽しいひとときを過ごしました。

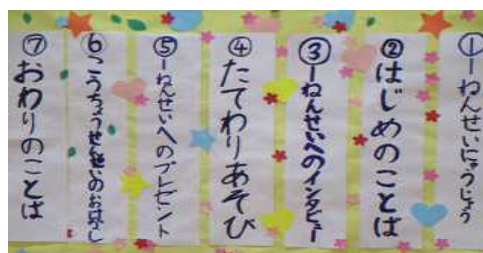
「マリンパークありえ」までの遠足は、「自転車・歩行者専用道路」を利用し、6年生が1年生の手をつなぎながら歩き、6年生自身も、1年生の頃手をつないで歩いたことを思い出したようでした。海岸や砂浜で友達と遊ぶ風景は実に微笑ましかったです。気温も上昇し、普段長い道のりを歩き慣れていない子供たちにとってはきつかったのかもしれませんが。心配された雨も降らず、心地よい遠足日和でした。「やさしく礼儀正しい子供」、「たくましい子供」としての思い出の1ページとなったことでしょう。



【2年生からのプレゼント:アサガオの種】



【6年生によるレク・たてわり遊びの1シーン】



【自転車・歩行者専用道路】



【お弁当開き:自分で詰めたという児童も】



【砂遊び風景】

## 意外と忘れがちかもしれません……喜びや思いに気づく力 → 「考え方の癖を変える」

私たちは、喜び、楽しみ、怒り、悩みなどを感じながら生きています。それらの感情は、自分以外の周りのせいでは起こっていると思われがちです。はたして感情とは自分以外のところから原因を与えられて起こるのでしょうか。

私たちは、多くの場合、相手に対する怒りとか、自分を否定的に考えるなど、自分も相手も不快にさせてしまうような感情で物事を考えがちです。つい、「自分にはできない」「どうしてなのか」と、怒りや悩みとして考える癖がついているのです。

でも、そのような考え方で日々過ごしていて、自分の心の中に喜びは生まれません。怒りや悩みなどの不快な感情よりも、喜びや楽しみなどの幸せな感情をたくさんつくっていく方が、気持ちの良い毎日を送ることができると思います。

喜びの感情をつくる方法は簡単です。物事を否定的に考える癖がある人は、その反対で肯定的に考えれば良いのです。もし、「そんな難しいこと、私にはできない。」と思う人は、「そんな簡単なことでいいのなら、私にもできる。」と考え方を変わると良いのです。これをいつも心がけて、考え方の癖にしていこうということです。

最初はぎこちなく感じたり、どれだけ思っても考え方を換えられなかったりすることがあると思います。長い間、自分が抱えてきた癖というのは、そんなに短期間で変わるものではありません。しかし、自分の考え方の癖を変えようと自分に言い聞かせ続けていると、いつの間にかそれが考え方の癖になっていきます。これこそ「考え方の癖を変えること」と言えます。